

市町村・観光担当団体 問合せ先一覧

朝倉市商工観光課	☎0946-52-1428	みやこ町産業課	☎0930-32-2512
糸島市企画部シティセールス課	☎092-332-2079	行橋市商業観光課	☎0930-25-1111
宇美町まちづくり課	☎092-932-1111	吉富町産業建設課	☎0979-24-4073
大野城市ふるさとにぎわい課	☎092-580-1894	うきは市ブランド推進課	☎0943-76-9029
春日市地域づくり課	☎092-584-1111	大川市インテリア課	☎0944-85-5584
粕屋町地域振興課	☎092-938-2311	大木町産業振興課	☎0944-32-1013
古賀市商工政策課	☎092-942-1176	大牟田市商業観光課	☎0944-41-2750
篠栗町産業観光課	☎092-947-1111	小都市商工・企業立地課	☎0942-72-2111
志免町地域交流課	☎092-935-1001	久留米市観光・国際課	☎0942-30-9137
新宮町産業振興課	☎092-962-0238	大刀洗町地域振興課	☎0942-77-0173
須恵町地域振興課	☎092-932-1438	筑後市商工観光課	☎0942-65-7024
太宰府市観光経済課	☎092-921-2121	広川町商工観光課	☎0943-32-1142
筑紫野市商工観光課	☎092-923-1111	みやま市商工観光課	☎0944-63-6111
筑前町企画課	☎0946-42-6601	柳川市観光課	☎0944-73-8111
東峰村農林観光課	☎0946-72-2313	八女市観光振興課	☎0943-23-1192
那珂川町産業課	☎092-953-2211	赤村政策推進室	☎0947-62-3000
久山町魅力づくり推進課	☎092-976-1111	飯塚市商工観光課	☎0948-22-5517
福岡市観光産業課	☎092-711-4353	糸田町産業経済課	☎0947-26-4025
福津市商工観光課	☎0940-52-4951	大任町総務企画財政課	☎0947-63-3000
宗像市商工観光課	☎0940-36-0037	嘉麻市産業振興課	☎0948-57-3154
芦屋町地域づくり課	☎093-223-3542	川崎町農商観光課	☎0947-72-3000
岡垣町産業振興課	☎093-282-1211	香春町産業振興課	☎0947-32-8406
遠賀町まちづくり課	☎093-293-8233	鞍手町地域振興課	☎0949-42-2111
苅田町協働のまちづくり課	☎093-434-1809	桂川町産業振興課	☎0948-65-1106
北九州市観光課	☎093-551-8150	小竹町産業課	☎09496-2-1167
上毛町企画情報課	☎0979-72-3111	添田町まちづくり課	☎0947-82-1236
築上町商工課	☎0930-52-0001	田川市商工観光課	☎0947-44-2000
中間市世界遺産推進室	☎093-245-4665	直方市商工観光課	☎0949-25-2156
豊前市まちづくり課	☎0979-82-1111	福智町まちづくり総合政策課	☎0947-22-7766
水巻町産業環境課	☎093-201-4321	宮若市産業観光課	☎0949-32-0519

福岡県企画・地域振興部総合政策課世界遺産登録推進室

☎092-643-3162

福岡県

建物マップ

お問い合わせ



文化観光情報ひろば

アクロス福岡「文化観光情報ひろば」では、九州・山口の芸術文化や観光に関する情報をチラシやパンフレット等で提供しています。また、作品展や講座などのイベントも開催しています。文化と観光の交流拠点としてご利用ください。

アクロス福岡2階(福岡市中央区天神1-1-1) 開館時間/10:00~18:00
休館日/年末年始 TEL 092-725-9100 FAX 092-725-9102
<http://www.acros.or.jp>

はじめに

歴史的な建造物の一本の柱、一枚の煉瓦から感じる往時の栄華の物語。最新の建築技術の粋を集めた近代の建物が見せる大空間の驚きとデザインの斬新さ。そんな魅力的な建造物が福岡県内にもたくさんあります。

今回、ご紹介するのは、市町村に推薦していただいた、建造物自体に見るべき価値がある近代的な建造物や歴史的な建造物で、遺構のみのものや、見学することができないもの等を除いた88の建造物です。

また、昨年、世界文化遺産となった「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の中から、福岡県にある「三池炭鉱」「官営八幡製鐵所」に属する8つの建造物を加え、さらにこれらの建造物をガイドしてくださる観光ボランティア団体の一覧表を添付しています。

この小誌を手に福岡県内各地を巡り、地域の歴史や魅力を知っていただければ幸いです。

本書の読み方

- 所… 建物の住所です。
 図… お問合せ先の電話番号です。市町村の観光課などが問い合わせ先になっていることも多いので、場合によっては土日などつながらないこともあります。
 期… 建物を見学できる期間と休館日です。季節や行事により変わることがあります。
 時… 建物の開館時間です。
 料… 通常時の入館料金です。

- 掲載している建物情報は、各市町村から2016年1月時点で推薦・情報提供をいただいたものです。
- 建物情報は、4つの地域ごとに市町村の50音順で表記しています。
- 各施設情報に付いている **MAP 1** ~ **MAP 96** は、差し込みの「福岡県マップ」の番号に対応しています。詳細な場所はお手元のマップでご確認のうえお出かけください。
- 文化財指定マークは、建造物自体に指定されているものだけに付けています。

国重文 国指定重要文化財

国名勝 国指定名勝

県 県指定文化財

国登録 国指定登録有形文化財

国伝建 国選定重要伝統的建造物群保存地区

市 市指定文化財

国史跡 国指定史跡

ガイド有 観光ボランティアガイドの有無
 お問合せはP24「観光ボランティア団体問合せ一覧」をご参照ください。

世界遺産 2015年ユネスコ世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の中から、「三池炭鉱」「官営八幡製鐵所」に属する8つの建造物を紹介。



ふ もん いん ほん どう
普門院本堂

国史

天平19(747)年、聖武天皇の勅願を請け、行基(ぎょうき)が筑後河畔に創建されたが、度重なる水害のため現在地に移築されたと伝えられる。建築形式は和様であるが、天竺様式、唐様式もわずかながら混入しており鎌倉時代末期の築造と考えられている。

所 朝倉市杷木志波5376
 図 普門院 ☎0946-62-0288
 期 通年 時 なし 料 無料

MAP 1

あき つきじょう ほん もん (くろ もん) なが や もん
秋月城本門(黒門)・長屋門

県

ガイド有

黒門は現在、秋月黒田藩祖・長興を祀る垂裕(すいよう)神社の参道に移築されているが、本来は秋月城の大手門として城の前面掘割にある瓦坂の奥に建っていた。形式的には江戸初期のものとされるが、中世秋月氏の本城・古処山城の搦手門(からめてもん)であったという伝承も残る。

長屋門は秋月城の奥御殿へと至る門であり、原位置に残る。昭和62(1987)年より解体修復工事を実施し、嘉永3(1850)年に建てられたことがわかった。

所 朝倉市秋月野鳥666-1 図 朝倉市文化課 ☎0946-22-0001
 期 通年 時 なし 料 無料

MAP 2



秋月城本門(黒門)



秋月城長屋門



す が じん じゃ ほん でん
須賀神社本殿

県

もとは「大雄山(だいゆうさん)祇園禅寺」と称し、牛頭(ごず)天王を祀る社殿。甘木一円の信仰に支えられ古来より盛大な祭礼を行ってきた。本殿は三間社流破風造り(さんげんしゃながれはふづくり)、檜皮葺(ひわだぶき)。文政3(1820)年10月15日に屋根上げの記録がある。

所 朝倉市甘木842
 図 須賀神社 ☎0946-22-2249
 期 通年 時 なし 料 無料

MAP 3

きゅう た しろ け じゅう たく
旧田代家住宅

国伝建 市

ガイド有

秋月藩の上級武家屋敷(150石)であった旧田代家の住宅は、城下町に残された武家屋敷の中でも規模が大きく、主屋・土蔵・門・土塀・庭という屋敷地の要素を全て有している。文化11(1814)年9月に田代家焼失の記録があることから、その翌年(1815)年までに再建されたものと思われる。朝倉市秋月伝統的建造物群保存地区に指定。

所 朝倉市秋月180-1 図 朝倉市文化課 ☎0946-22-0001
 期 通年(12月28日~1月4日休館) 時 9:00~16:00 料 無料

MAP 4





たか す じん じゃ ほん でん はい でん

糸島市 高祖神社本殿・拝殿

現存する本殿は寛文2(1662)年に黒田3代藩主光之公によって再建されたもの。三間社流造(さんげんしゃながれづくり)の檜皮葺(ひわだぶき)で、約350年前の姿をそのまま残す貴重な建造物。また春と秋に行われる高祖神楽も、福岡県の無形文化財に指定されている。

所 糸島市高祖1578
問 高祖神社 ☎092-322-7133
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 5



きゅう し め こう ぎょうしょ たて こう やぐら

志免町 旧志免鋳業所竪坑櫓

日本海軍が昭和18(1943)年5月に建設した石炭の採掘施設。高さ47.65m、長辺15.3m、短辺12.3m、地下430mという大きさ。第二次世界大戦後は日本国有鉄道志免鋳業所として石炭を採掘した。鋳業所は昭和39年に閉山したが、現在も町のランドマークとして町民に広く愛されている。

所 糟屋郡志免町大字志免495
問 志免町社会教育課 ☎092-935-7100
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 9

糸島市 櫻井神社・櫻井大神宮

櫻井神社本殿は與止妃宮(よどひめぐう)とも称され、黒田2代藩主忠之公によって創建された三間社流造の社殿が現在に至る。本殿・楼門・拝殿は、県指定有形文化財に指定されている。また櫻井大神宮では、伊勢神宮から譲与された鳥居を見ることができる。

所 糸島市志摩桜井4227
問 櫻井神社 ☎092-327-0317
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 6



新宮町 横大路家住宅

17世紀中頃に建てられたといわれる九州で最も古い民家の一つ。家は、「曲り屋」と呼ばれるL字型に折れ曲がった形をした建物で、屋根は全て茅で葺かれている。また、伝教大師(最澄)にまつわる伝説から「岩屋」や「千年家」と呼ばれ、広く町民に親しまれている。現在は、文化・文政期(1800年代始め)の姿に復元。

所 糟屋郡新宮町上府420
問 新宮町歴史資料館 ☎092-962-5511
期 水～日曜日 時 10:00～16:45 料 無料

MAP 10



きゅう ふじ せ け じゅう たく

糸島市 旧藤瀬家住宅

旧中津藩の庄屋を務めた糸島市神在の藤瀬家の住宅を平原(ひらばる)歴史公園内に移築・復元したもので、元文2(1737)年に建築された、九州では最古級の民家建築。江戸中期の庄屋住宅の特徴をよく残している。また、多くの貴重な古文書類も発見されている。

所 糸島市井田702-1(平原歴史公園内)
問 糸島市文化課 ☎092-332-2093
期 通年 時 9:00～17:00 料 無料

MAP 7



だ ざい ふ てん まん ぐう ほん でん

太宰府市 太宰府天満宮本殿

天正19(1591)年、豊臣秀吉の命を受け、小早川隆景が再建。五間社流造の檜皮葺の建物で、正面に大唐破風(おおからはふ)の向拝(こうはい 拝礼のための突き出た部分)が一間、左右両側にも同じような唐破風の車寄せを付けている。

所 太宰府市宰府4-7-1 問 太宰府天満宮 ☎092-922-8225
時 開門:春分の日～秋分の日の前日 6:00、それ以外の日 6:30
開門:6月～8月 20:00、9月～5月 19:00
期 通年 料 無料

MAP 11

粕屋町 粕屋町総合体育館(かすやドーム)

駕与丁(かよいちょう)公園内に位置する通称「かすやドーム」。館内には大規模な大会やイベントに対応するメインアリーナ、サブアリーナをはじめ、最新のマシンが設置されたトレーニング室、武道場、全天候型温水プールを備えたプールアリーナなどがある。白いドームが印象的で、平成10年には社団法人照明学会九州支部より照明普及賞(優秀施設賞)を受賞。

所 糟屋郡粕屋町駕与丁3-2-1 問 粕屋町総合体育館 ☎092-939-5130
時 体育館 10:00～22:00(土日祝 9:00～21:00)
プール 10:00～21:30(土日祝 10:00～20:30)
期 通年 料 無料(利用料金別途)

MAP 8



照明普及賞(優秀施設賞)受賞

太宰府市 戒壇院本堂

建立は延宝8(1680)年と伝えられるが、元禄年間に現在の姿になったと考えられる。本堂は切石の基壇上に建てられ、下層は五間、上層は三間の重層入母屋造で、屋根は本瓦葺、正面には一間の向拝(拝礼のための突き出た部分)が付いている。日本三戒壇のひとつ。

所 太宰府市観世音寺5-7-10
問 戒壇院 ☎092-922-4559
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 12





かん ぜ おん じ こん どう こう どう
観世音寺金堂・講堂 県 ガイド有

現存する金堂と講堂は、元禄年間（1688～1703年）に黒田3代藩主光之公が再建したもの。二棟とも入母屋造（いりもやづくり）の本瓦葺で、金堂は桁行五間（けたゆきごけん）、梁間四間（はりまよんけん）。講堂は桁行三間、梁間二間で装階（もこし）がめぐり、外観重層をなしている。

所 太宰府市観世音寺5-6-1 **問** 観世音寺(宝蔵) ☎092-922-1811
期 通年 **時** 宝蔵9:00～17:00(入場は16:30まで)
料 大人500円、高大学生300円、小中学生150円 **MAP** **13**



ぎょう じゃ どう
行者堂 県

修験道が盛んだった昔、行者堂の付近一帯は深仙宿（しんせんしゆく）と呼ばれ、修験者たちが英彦山に峰入りする際、他のどの宿よりも長い期間滞在して修行した場所であった。行者堂には修験の始祖、役行者（えんのぎょうじや）像が安置されている。創立は室町時代と推定される。

所 朝倉郡東峰村大字小石原722-2
問 東峰村農林観光課 ☎0946-72-2313
期 通年 **時** なし **料** 無料 **MAP** **17**

筑紫野市
 きゅうきゅうしゅうてつ どう き やま さん れん きょうりょう 国登録
旧九州鉄道城山三連橋梁

明治22年12月11日に九州鉄道株式会社が開業した当時から存在するもので、橋長24.5m幅4.7mの赤レンガ造りの三連アーチ式。レンガの積み方はイギリス式が採用されている。大正9（1920）年に複線化し、現在は市道となっている。

所 筑紫野市永岡
問 筑紫野市文化情報発信課 ☎092-923-1111
期 通年 **時** なし **料** 無料 **MAP** **14**



東峰村
 い ぶ き かん
いぶき館

筑豊の石炭王・伊藤伝右衛門が邸宅の一部を宝珠山に移築して、宝珠山炭坑幹部職員の社交場「炭坑クラブ」として使用していた建物。現在は山村文化交流の郷「いぶき館」（炭坑関係の資料館）として活用されている。

所 朝倉郡東峰村大字福井2296-1
問 (株)宝珠山ふるさと村 ☎0946-72-2232
期 通年(火曜日、年末年始休館) **時** 9:00～17:00
料 大人300円、小学生～高校生150円、小学生以下無料 **MAP** **18**



ぶ ぞう じ (ちん かざんじょうじゅいん ぶ ぞう じ)
武蔵寺(椿花山成就院武蔵寺)

藤原鎌足の子孫、藤原虎鷹が創建に関わったと伝わる九州最古の寺。建立は飛鳥時代とも奈良時代とも言われている。春には境内の樹齢1300年と言われる長者の藤が美しく咲き、多くの人で賑わう。芭蕉の句碑や五輪の塔など、見どころも多い。

所 筑紫野市武蔵621
問 武蔵寺 ☎092-922-2670
期 **時** **料** 要問合せ **MAP** **15**



東峰村
 め が ね ばし
めがね橋

村内を走る日田彦山線にかかるアーチ橋。昭和13（1938）年に完成し、九州の近代土木遺産にも選ばれている。毎年12月の上旬から約1か月間、夜間ライトアップされ、その上を汽車が走る姿はさながら銀河鉄道のように。東峰村には4本のめがね橋が現存する。

所 朝倉郡東峰村大字宝珠山(日田彦山線筑前岩屋駅～大行司駅間)
問 東峰村農林観光課 ☎0946-72-2313
期 通年 **時** なし **料** 無料 **MAP** **19**

東峰村
 い わ や じん じゃ
岩屋神社 国重文

本殿が国指定重要文化財である岩屋神社は、空から降ってきたと伝わる星の玉「宝珠石（ほうしゅせき）」を御神体として祀っている。宝珠とは、願いが叶う不思議な玉の意。古来より修験者たちの重要な修行の場だ。現在の本殿は元禄11（1698）年に建立された。

所 朝倉郡東峰村大字宝珠山4141
問 東峰村農林観光課 ☎0946-72-2313
期 通年 **時** なし **料** 無料 **MAP** **16**



久山町
 い の てんしょう こう たい じん ぐ
伊野天照皇大神宮

「九州のお伊勢さん」として広く親しまれている神宮。江戸時代、黒田3代藩主光之公が現在の場所に建立した。本殿及び拝殿、鳥居は伊勢神宮の内宮・外宮正殿に代表される神明造り（しんめいつくり）となっており、また伊勢神宮の御遷宮の際には解体された古材を下賜されるなど、伊勢神宮と深い所縁がある。毎月1日、15日は麓の千人館で地元の方がお茶などのおもてなしを行っている。

所 糟屋郡久山町大字猪野604 **期** 通年 **時** なし **料** 無料
問 久山町魅力づくり推進課 ☎092-976-1111 **MAP** **20**





きゅうにほんせいめいほけんかぶしがいいしゃきゅうしゅうしでん
旧日本生命保険株式会社九州支店

明治42(1909)年に、東京駅などを設計した建築家・辰野金吾と片岡安の設計により建設された。尖塔やドーム、赤煉瓦と白の石材の組み合わせは19世紀末に英国で流行したスタイル。現在は市民に開かれた文化活動の場「赤煉瓦文化館」として親しまれている。

所 福岡市中央区1-15-30
問 福岡市文化財保護課 ☎092-711-4666
期 通年(月曜日、12月28日～1日4日休館)
時 9:00～21:00 料 無料

MAP 21

きゅうふくおかけんこうかいどうきひんかん
旧福岡県公会堂貴賓館

明治43(1910)年、第13回九州沖縄八県連合共進会に際し、来賓接待所を兼ねて建設された。その後、県の公会堂として利用されていたが、戦後には福岡高等裁判所、県立水産高校、県教育庁舎などに転用され、現在は数少ない明治時代のフレンチルネッサンスを基調とする公共建築物として、国の重要文化財に指定されている。

所 福岡市中央区西中洲6-29 問 福岡県教育委員会 ☎092-751-4416
期 通年(月曜日、12月29日～1月3日休館) 時 9:00～17:00
料 大人240円、15歳未満120円、65歳以上無料

MAP 22



ふくおかじょうあと
福岡城跡

黒田初代藩主長政公により築城された福岡城跡は、天守台と本丸、二の丸、三の丸の曲輪を持つ。城内には家老屋敷や10余りの門の他、47基の櫓があったと伝わるが、廃藩置県後大半の建物が解体や崩壊により失われた。現在城内には、南丸多門櫓(重要文化財)、下之橋御門・祈念櫓・(伝)潮見櫓・旧母里太兵衛邸長屋門(県指定文化財)、名島門(市指定文化財)などの建造物がある。

所 福岡市中央区城内 期 通年 時 なし 料 無料
問 福岡市文化財保護課 ☎092-711-4666

MAP 23

はかたちまちやふるさとかん
「博多町家」ふるさと館

明治20(1887)年代前半に、博多織元の住居・店舗兼織場として建築された町家で、昭和初年まで使用されていた。平成4(1992)年に福岡市に譲渡され、櫛田裁縫学校跡地に移築復元された。平成7年より一般公開され、市の有形文化財にも指定されている。

所 福岡市博多区冷泉町6-10
問 博多町家ふるさと館 ☎092-281-7761
期 通年(12月29日～31日休館) 時 10:00～18:00(入場は17:30まで)
料 15歳以上200円、小中学生無料

MAP 24



あくろすふくおか
アクロス福岡

福岡市の中心地、天神に国際・文化・情報の交流拠点というコンセプトのもとに誕生した公民複合施設。建築家エミリオ・アンパースの基本構想を基に、日本設計、竹中工務店が設計。ビルの南側には天神中央公園と一体となったステップガーデン(階段状の屋上庭園)が整備されている。2015年にアメリカのCNN.comで「世界で最も美しい10の空中庭園」に選ばれた。

所 福岡市中央区天神1-1-1 問 エイ・エフ・ビル管理(株) ☎092-751-8591
期 通年(12月29日～1月3日休館)
ステップガーデン3月～4月・9月～10月9:00～18:00/5月～8月9:00～18:30/11月～2月9:00～17:00
屋上解放(土・日・祝) 10:00～18:00
バックステージツアー 年1回以上(問合せ:文化観光情報ひろば 092-725-9100)
時 10:00～22:00 料 無料

MAP 25

ふくおかたわー
福岡タワー

平成元(1989)年に福岡市制100周年を記念し開催された「アジア太平洋博覧会(よかとぴア)」のモニュメントとして建てられた。海浜タワーとしては日本一(234m)で、8000枚ものハーフミラーで覆われた正三角形の洗練された外観は「ミラーセイル」の愛称で親しまれている。

所 福岡市早良区百道浜2-3-26 問 福岡タワー(株) ☎092-823-0234
期 通年(6月に2日間休館) 時 9:30～22:00(入場は21:30まで)
料 大人800円、小中学生500円、幼児200円、65歳以上500円

MAP 26



つやざきせんげんみんぞくかんあいのいえ
津屋崎千軒民俗館 藍の家

明治34(1901)年に染物屋を営んでいた上妻家の住まいとして建築。その歴史的価値の高さから平成19(2007)年に国の有形文化財に登録された。数年間海水に浸けた「塩木(しおぎ)」を使用した梁など、建築時の姿をよく残している。現在は、公共の施設として利用され、藍染め体験や作品展などが開催されている。

所 福岡市津屋崎4-14-20 問 津屋崎千軒民俗館藍の家 ☎0940-52-0605
期 通年(8月13日～15日、12月29日～1月4日休館)
時 10:00～16:00(日曜日のみ入場は17:00まで) 料 無料

MAP 27



むなかたたいしゃへつみやほんでんはいでん
宗像大社辺津宮本殿・拝殿

世界文化遺産国内推薦が決定した「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の構成遺産のひとつで、宗像大社三宮の総社の主建造物。現在の本殿は大宮司宗像氏寅、拝殿は小早川隆景が16世紀後半に再建したもので、安土桃山時代初期の神社建築の特色がよく表されている。祭神は天照大神の御子神である宗像三女神の市杵島姫神(いちぎしまひめのみこと)である。

所 宗像市田島2331 問 宗像大社 ☎0940-62-1311
期 通年 時 6:00～17:00 料 無料

MAP 28

国産

旧門司三井倶楽部

大正10(1921)年に三井物産の社交場、迎賓施設として建てられたハーフティンバー式の洋館。2階にはアインシュタイン博士夫妻が来日の際に宿泊した部屋と、作家林芙美子の記念室がある。

所 北九州市門司区港町7-1
問 門司港レトロ総合インフォメーション ☎093-321-4151
期 通年 時 9:00～17:00(入場は16:30まで)
料 大人100円、小中学生50円(2階のみ有料)

MAP 33



東田第一高炉跡

明治34(1901)年、当時の八幡村に建設されたわが国初の鉄鋼一貫型の高炉。改修を経て、昭和37(1962)年に高压高炉として現在の姿になった。高炉跡一帯が広場に整備され、高炉の歴史を伝える資料が展示されている。

所 北九州市八幡東区東田2-3-12
問 北九州市文化企画課 ☎093-582-2391
期 通年(年末年始休館)
時 9:00～17:00 料 無料

MAP 34



若戸大橋

昭和37(1962)年9月に完成。我が国最初の長大吊橋で建設当時は「東洋一の夢の吊橋」と言われた。日本の土木技術を結集し、材料も全て国産。後の関門橋や本州四国連絡橋等の建設にも活かされている。若松南岸のレトロな風景とマッチした河海灣のシンボルであり、兩岸を結ぶ若戸渡船から眺めるのもいい。

所 北九州市若松区～戸畑区 期 通年 時 なし
料 通行料金100円(普)、50円(軽)他
問 北九州市道路公社 ☎093-881-2183

MAP 35



旧藏内邸

炭坑経営者であった藏内氏の本家住宅として明治30年から大正時代に建てられたもの。現在も当時の状態をよく残しており、和風建築・庭園として極めて優れていると平成27年10月付けで国の名勝に指定された。

所 築上郡築上町大字上深野396
問 旧藏内邸 ☎0930-52-2530、築上町商工課 ☎0930-52-0001
期 通年(火水曜日定休／祝日の場合は開館、12月28日～1月4日休館)
時 9:30～16:30(入場は16:00まで)
料 高校生以上300円、小中学生100円

MAP 36



宗像大社沖津宮遙拝所

ガイド有

大島より海上50km、通常渡島が厳しく制限される沖ノ島。参拝は古来よりこの遙拝所から行っていた。春秋の大祭時には、扉を開け、遙か水平線の彼方の沖ノ島を拝しながら沖津宮大祭がここで斎行される。

所 宗像市大島1293 問 宗像大社中津宮 ☎0940-72-2007
期 沖ノ島現地大祭当日、宗像大社春秋大祭のみ公開。
建物を見ることは通年可能。
料 無料

MAP 29



北九州市旧古河鋳業若松ビル

国登録

大正8(1919)年竣工の煉瓦造り建築。コーナーに円形塔を配し、堂々とした風格を醸し出した外観は、若松南海岸通りのシンボリック的存在となっており、石炭景気に沸いた当時を偲ばせる。

所 北九州市若松区本町1-11-18
問 北九州市旧古河鋳業若松ビル ☎093-752-3387
期 通年(火曜日、年末年始休館)
時 9:00～17:00 料 無料

MAP 30



旧大阪商船

国登録

門司港のランドマークである八角形の塔屋と、鮮やかなオレンジの外観が目印となっている。大正6(1917)年に竣工し、大阪商船の門司支店として海外とを結ぶ客船航路の拠点であった。

所 北九州市門司区港町7-18
問 門司港レトロ総合インフォメーション ☎093-321-4151
期 通年 時 9:00～17:00
料 無料(有料ギャラリーあり)

MAP 31



九州鉄道記念館

国登録

明治24(1891)年竣工の旧九州鉄道本社。壁面の煉瓦には戦時中の空襲爆弾痕が残るなど、門司港の歴史を語る貴重な遺産。現在は実物の鉄道車両や鉄道文化遺産の展示のほか、ミニ鉄道や運転シュミレーターなども楽しめる。

所 北九州市門司区清滝2-3-29 問 九州鉄道記念館 ☎093-322-1006
期 通年(8月を除く第2水曜日休館、7月は第2水木曜日休館)
時 9:00～17:00(入場は16:30まで)
料 高校生以上300円、中学生以下150円、4歳未満無料

MAP 32





豊前市 蔵春園

文政7(1824)年、恒遠醒窓(つねとおせいそう)によって開設された漢学私塾で、多くの著名人がここから巣立っていった。現在は当時を偲ばせる1600点余りの資料が保存され、庭園には記念碑も建立されている。

所 豊前市大字薬師寺570
問 蔵春園 ☎0979-82-0639
期 通年(予約制) 時 なし 料 無料

MAP 37



行橋市 いな どういちごう えん たい ごう 稲童1号掩体壕

太平洋戦争末期、昭和19(1944)年8月ごろ、航空機を隠し、空襲から防護するために築城(ついき)海軍航空隊の飛行場周辺に多数造られた掩体壕の一つ。双発の中型機(夜間戦闘機「月光」・陸上爆撃機「銀河」など)を格納する大規模なもので、コンクリート壁面には機銃掃射の弾痕が残り、戦争の歴史と平和の大切さを今に伝えている。

所 行橋市稲童1095-17 期 通年 時 なし 料 無料
問 行橋市文化課 ☎0930-25-1111

MAP 41

みやこ町 なが ぬま け じゅう たく 永沼家住宅

霊峰・英彦山(ひこさん)の麓にある犀川帆柱地区所在の旧庄屋住宅。天保2(1841)年の竣工で、桁行約20m、梁行約11mの直家(すこや=平面が長方形)造りの農家だ。通常の農家の間取りに藩役人等の貴賓応接ができる書院座敷が加わる構造が特徴。

所 京都府みやこ町犀川帆柱721
問 みやこ町歴史民俗博物館 ☎0930-33-4666
期 3月中旬～12月中旬の日曜日 料 無料
時 10:00～16:00(ただし12:00～13:00を除く)

MAP 38



行橋市 もり た さ しゅう きゅう きょ 守田蓼洲旧居

海辺の港町にある築150年の、江戸時代に建てられた大庄屋の屋敷。土間の上に太い梁が組み、歴史を感じさせる重厚な造りとなっている。自然石の石組みで構成された池泉庭園は趣があり、現在はギャラリーとしても利用されている。檜の名手・後藤又兵衛とゆかりのある家柄で、関連資料が伝来している。

所 行橋市沓尾181 問 守田蓼洲旧居 ☎0930-23-5559
期 土日祝のみ(8月13～15日、12月28日～1月4日休館)
時 10:00～17:00 料 無料

MAP 42



みやこ町 さん じゅうのとう 三重塔

豊前国分寺境内に聳える明治29(1896)年竣工の木造層塔。当時の住職、宮本孝梁(みやもとこうりょう)師が発願し、近隣の有縁の人々の喜捨により、10年近い歳月をかけて建立された。九州では3例しかない古塔建築として、福岡県の文化財に指定されている。

所 京都府みやこ町国分278
問 みやこ町歴史民俗博物館 ☎0930-33-4666 期 通年
時 なし(内部は博物館開館日の9:00～17:00) 料 無料

MAP 39



みやこ市 ひら かわ け じゅう たく 平川家住宅

主屋はコの字形の屋根をしている特異な建物(「くど造」寄棟造)で、この地方の典型的な民家として、昭和46(1971)年に福岡県下の民家で最初に重要文化財に指定された。建築年代は18世紀後期と考えられる。

所 うきは市浮羽町田籠383-1
問 うきは市生涯学習課 ☎0943-75-3343
期 通年(内部見学の場合は要予約)
時 なし 料 無料

MAP 43

行橋市 ちゅうひやくさんぎょう 旧百三十銀行行橋支店(行橋赤レンガ館)

大正3(1914)年に造られた煉瓦造りの美しい銀行建築。平成13(2001)年度に改修工事を行い、現在は市民ギャラリーとして利用されている。辰野金吾が主宰する辰野・片岡事務所の監督のもと、清水建設が設計・施工。天井の高い吹き抜け構造で、大正時代の銀行を代表する建造物だ。

所 行橋市大橋3-7-14 問 行橋赤レンガ館 ☎0930-23-7724
期 通年(火曜日、8月15日、12月28日～1月4日休館)
時 10:00～18:00 料 無料

MAP 40



みやこ市 かがみ だ や しき 鏡田屋敷

吉井に現存する唯一の屋敷型建造物。正面部分は文久3(1863)年に建てられ、背面の座敷や2階は明治26(1893)年に増築された。当初は郡役所の官舎として利用されていた。主屋は入母屋造り棧瓦葺き平入り。筑後吉井伝統的建造物群保存地区指定。

所 うきは市吉井町若宮113 問 うきは市生涯学習課 ☎0943-75-3343
期 通年(月曜日、12月29日～1月3日休館)
時 9:00～16:30 料 無料

MAP 44





いぐらのやかた 居蔵の館

ガイド有

完成度の高い代表的な居蔵屋(いぐらや)のひとつ。漆喰が塗られた壁等、外部から延焼しにくい構造になっている。明治末期に建てられ、精蠟業(せいろうぎょう)で財を成した大地主の分家として、銀行経営に携わった一家が住んでいた。

所 うきは市吉井町1130-1

問 うきは市生涯学習課 ☎0943-75-3343

期 通年(月曜日、12月29日～1月3日休館)

時 9:00～16:30 料 無料

MAP 45

おおかわ しきゅうよし はら けじゅうたく 大川市旧吉原家住宅

国重文

ガイド有

旧柳河藩小保町の別当職を代々務めた吉原家の居宅。主屋の建立は文政8(1825)年。吉原三郎左衛門三運により建てられた。建物は大規模で細部の意匠に優れ、複雑な屋根の構成と大壁作りの重厚な外壁に特色がある。

所 大川市大字小保136-17

問 大川市旧吉原家住宅 ☎0944-86-8333

期 通年(月曜日、年末年始休館)

時 9:00～17:00 料 無料

MAP 46



ちくごがわしょうかいきょう 筑後川昇開橋

国重文

ガイド有

昭和10(1935)年、国鉄佐賀線の敷設とともに架設された、日本に現存する最古の昇開式可動鉄橋。全長507m、平成19年に日本機械学会の「機械遺産」にも認定された。現在は遊歩道として公開されている。

所 大川市大字小保614-6

問 (公財)筑後川昇開橋観光財団 ☎0944-87-9919

期 通年(月曜日、年末年始休み)

時 9:00～16:30(強風の場合は閉鎖) 料 無料

MAP 47

ふうろうぐう 風浪宮

国重文

ガイド有

1800年前に創建されたと伝えられている神功皇后ゆかりの神社。本殿は16世紀に蒲池鑑盛(かまちあきもり)が再建したもので、俗に「おふろうさん」と呼び親しまれ、勅命社として千八百余年の由緒をもつ大社。境内にある石造五重の塔(正平塔)も国の重要文化財。

所 大川市大字酒見736-1

問 風浪宮社務所 ☎0944-87-2154

期 通年 時 なし 料 無料

MAP 48



おおむたしちょうしゃ 大牟田市庁舎

国登録

昭和11(1936)年に完成した「近世式鉄筋コンクリート4階建」と呼ばれる建築様式の建物。大牟田市庁舎が昭和8(1933)年に焼失した後に、同じ場所に建設された建造物であり、大牟田市都心部のほとんどが焦土化した第二次世界大戦の戦火にも耐え抜いた貴重な建造物。「高射砲の台座」「防空監視哨(しょう)」「防火用水槽」など戦時中使用された施設や、旧貴賓室にはマントルピースが今も残っている。

所 大牟田市有明町2-3 期 平日(立入禁止区域あり)

問 大牟田市世界遺産登録・文化財室 ☎0944-41-2515

時 8:30～17:15 料 無料

MAP 49

きゅうみつ いみなとくらぶ 旧三井港倶楽部

市

明治41(1908)年の三池港開港にあわせて船員の休憩所や政財界の社交場として建てられた木造一部2階建ての洋館。建設当初は和洋館並立形式だったが、現在は洋館のみが往時の姿を伝えている。市登録有形文化財であり、現在はレストラン・結婚式場として活用されている。

所 大牟田市西港町2-6 問 旧三井港倶楽部 ☎0944-51-3710

期 通年(火曜日休館、要電話確認、貸し切り時は入館不可) 料 無料

時 ランチ11:30～14:30、ディナー17:00～21:00(夜は予約制)

MAP 50



まつおか けじゅうたく 松岡家住宅

市

大正12(1923)年に完成し、昭和30年代まで酒屋として使用されていた建物。柱や梁にはヒノキやカシ、ケヤキ、マツなどの木材が贅沢に使われ、重厚な梁組みを見ることが出来る。現在は創作・懐石料理・蕎麦「とびうめ」として営業している。この名は、当時製造していた酒の銘柄「とびうめ」からとったもの。

所 小郡市干潟645 期 通年 時 11:00～22:00 料 無料

問 小郡市文化財課 ☎0942-75-7555

MAP 51

きゅうまつ ざき はたご あぶら や 旧松崎旅籠油屋

市

ガイド有

薩摩街道の宿場町である松崎宿に建てられた江戸時代の旅籠建築。一般の旅人を泊めた主屋(油屋)と、身分の高い賓客を泊めた角座敷(中油屋)からなり、当時の姿が公開されている。嘉永2(1849)年に建てられたことがわかっている。

所 小郡市松崎786-1 問 小郡市文化財課 ☎0942-75-7555

期 平日(土日曜日は要問合せ)

時 10:00～15:00 料 無料

MAP 52



平成27年9月から平成30年までの期間、油屋を解体・復原するための内部の見学不可



くるめしりつさのれきししりょうかん
久留米市立草野歴史資料館

筑後地方で勢力をふるった豪族草野氏と、周辺地域に関する貴重な収蔵品などを展示・公開している歴史資料館。明治44(1911)年に草野銀行本店として建築された和洋折衷の建物。

所 久留米市草野町草野411-1
問 久留米市立草野歴史資料館 ☎0942-47-4410
期 通年(月曜日、祝日の翌日、年末年始休館) 時 10:00～17:00
料 高校生以上100円、小中学生50円 MAP 53



さかもとはんじろうせい か
坂本繁二郎生家

久留米市に唯一残る武家屋敷で、市出身の近代洋画家・坂本繁二郎の生家。茅葺と瓦葺が結合した一部2階建てに復元工事後、平成22(2010)年より一般公開を行っている。年間を通じて、展示会や体験講座を実施。

所 久留米市京町224-1
問 久留米市文化財保護課 ☎0942-30-9225
期 通年(月曜日、年末年始休館) 時 10:00～17:00
料 高校生以上200円、小中学生100円、幼児無料 MAP 57

こうらたいしゃほんでんへいでんはいでんおとりい
高良大社本殿・幣殿・拝殿・大鳥居

社は久留米藩3代藩主有馬頼利の寄進により、明暦2(1656)年から寛文元(1661)年にかけて造営されたもので、神殿の形式は本殿と拝殿の間に幣殿が入る権現造。大鳥居は、高良山の麓の参道入り口にある。石造の大鳥居で、承応4(1655)年2代藩主有馬忠頼が寄進したものである。

所 久留米市御井町1番地外 問 高良大社 ☎0942-43-4893
期 5:00～19:00(4～9月)、6:00～18:00(10～3月)
料 無料 MAP 54



平成27年度から平成29年度にかけて、本殿・幣殿・拝殿の屋根葺替えを中心とした保存修理事業が始まる。修理期間中の建物の見学はできないが、修理の進捗に応じて修理現場の公開が実施される予定。

いまむらてんしゅどう
今村天主堂

煉瓦造教会堂で、平面規模、高さともに最大の規模を有し、類例の少ない双塔を聳えさせた壮観な正面構成。内部は高いリブ・ヴォールト天井と本格的な三層構成、精緻な細微装飾など優れた意匠を示している。多くの教会建築を手掛けた鉄川与助が設計・施行。

所 三井郡大刀洗町今707
問 大刀洗町地域振興課 ☎0942-77-0173
期 通年 時 8:00～17:00(教会行事の際は内部の拝観不可)
料 無料 MAP 58



ぜんどうじほんどうほかなとう
善導寺本堂ほか7棟

善導寺は承元2(1208)年、聖光上人(しょうこうしょうにん)が開創した浄土宗の古刹。広大な境内地のほぼ中央に南面して、本堂(天明6・1786年)が建ち、南方に釈迦堂・観音堂などの仏堂、東方には大門(慶安4・1651年)、三門が配され、長い参道に沿って子院が並び建つ。平成15年度から平成24年度にかけて保存修理事業が実施され、江戸中期の景観が復原された。

所 久留米市善導寺町飯田550 問 大本山善導寺 ☎0942-47-1006
期 通年 時 5:00～19:00(4～9月)、6:00～18:00(10～3月) 料 無料 MAP 55



さんしか
山梔窩

山梔窩は幕末の勤皇志士(きんのうしし)・真木和泉守保臣(まきいずみのかみやすおみ)が久留米藩の藩政改革に失敗して謹慎させられ、9年9か月を過ごした家。山梔窩という名の由来は、庭にクちなシ(梔)が植えられたことからとも、「口なし」(藩への発言を止められた自身の立場)からとったとも言われている。

所 筑後市大字水田242
問 筑後市社会教育課 ☎0942-65-7072
期 見学希望の際は事前連絡 時 8:30～17:15 料 無料 MAP 59

やまべのみちぶんかかん
山辺道文化館

大正時代に建てられた病院を歴史的建造物として保存し、地域の伝統文化に関する資料の展示や人々の交流拠点として活用している。耳納連山(みのうれんざん)の麓にたたずむ、空色の外壁が特徴のレトロな洋館。

所 久留米市草野町草野487-1
問 山辺道文化館 ☎0942-47-3015
期 通年(月曜日、祝日の翌日、年末年始休館)
時 10:00～17:00 料 無料 MAP 56



きゅうしゅうげいぶんかん
九州芸文館

筑後広域公園にある芸術文化交流施設。施設は日本を代表する建築家・隈研吾氏がデザインし、筑後の山並みをイメージした外観が特徴の本館、ガラス張りの外壁が特徴のアネックス1、外壁に梁や八女杉を用いた木造のアネックス2で構成される。

所 筑後市大字津島1131 期 通年(月曜日、年末年始休館)
時 9:00～21:00 料 無料
問 ちくごJRC芸術の郷事業団 ☎0942-52-6435 MAP 60



第一回隈木造・木質化建築賞大賞(九州芸文館アネックス2)



なが た こう せん ば
長田鉦泉場

新船小屋温泉郷にあるレトロな小屋が目印の鉦泉場。平成4(1992)年1月に筑後市の船小屋鉦泉場を真似て建設した。天然ミネラルイオンが豊富な炭酸湧水は、胃腸疾患や便秘などに効能があると期待されている。

所 みやま市瀬高町長田2633-1
問 田中羊羹本舗 ☎0942-52-3224
期 通年 時 7:00~19:00 料 無料

MAP 61

きよ みず でら さん じゅうのとう
清水寺三重塔

天保7(1836)年に大阪の四天王寺の五重塔を手本に建造された。朱塗りの三重塔は優美さと荘厳さを兼ね備え、自然と見事に調和している。また、清水寺の楼門は、延享2(1745)年に柳河藩主が建立したもので、階上には釈迦如来、文殊師利菩薩(もんじゅしりぼさつ)の尊像が安置されている。

所 みやま市瀬高町本吉1117-4
問 みやま市観光協会 ☎0944-63-3955
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 62



うち の しょうのう こう ば
内野樟脳工場

専売制作によって明治維新を陰で支えた樟脳。内野樟脳は400年変わらない製法原理を守り続けている。工場は改修、建替えを繰り返しながらも江戸時代創業の歴史を守っている。工場に広がる樟の香りからは明治の風を感じられる。

所 みやま市瀬高町長田1863-1
問 内野樟脳 ☎0944-62-2985
期 通年(要予約) 時 なし 料 無料

MAP 63

きた はら はく しゅう せい か
北原白秋生家

近代日本を代表する詩人・北原白秋の生家で、江戸後期に建築された土蔵造りの主屋と穀倉、掘割に面し復原された水汲場、資料館を見学することができる。館内では白秋の生涯や業績を紹介している。

所 柳川市沖端町55-1
問 (公財)北原白秋生家記念財団 ☎0944-73-8940
期 通年(12月30日~1月1日休館) 時 9:00~17:00
料 大人500円、高大学生450円、小中学生250円

MAP 64



たち ばな し てい えん せい よう かん
立花氏庭園西洋館
おおひろ ま お い ま か せい きょく
大廣間・御居間・家政局

元文3(1739)年に造営された柳川藩主立花家の家族が生活した「御花畠」を前身とし、明治末期に再編された立花伯爵家の邸宅。接客空間の西洋館及び大廣間、池泉式庭園の松清園等を見学することができる。

所 柳川市新外町1-1 問 立花家資料館 ☎0944-77-7888
期 通年 時 9:00~18:00
料 大人500円、高校生300円、小中学生200円

MAP 65

きゅう と し ま け じゅう たく
旧戸島家住宅

文政11(1828)年に柳川藩士の隠宅として建設された数寄屋風意匠を持つ葺葺2階建の建築で、後に藩主家の茶室としても利用された。池泉式庭園は国名勝に指定されている。

所 柳川市竜童町49-3 問 旧戸島家住宅 ☎0944-73-9587
期 通年(火曜日、12月29日~1月3日休館)
時 9:00~17:00(入場は16:30まで)
料 小学生以上100円

MAP 66



きゅうまつ き け
旧松木家

高利な水利技術を伝える矢部川中流域の在郷町として平成21(2009)年に国から八女市黒木伝統的建造物群保存地区に選定された黒木地区の中で、表構えを残す「居蔵」の町家を代表する建物。現在は「まちなみ交流館」として利用されている。

所 八女市黒木町黒木80-2 問 まちなみ交流館 ☎0942-42-0004
期 通年(月曜日、年末年始休館)
時 9:00~17:00 料 無料

MAP 67

きゅう くま もと け
旧隈本家

矢部川流域の村方を代表する明治16(1883)年の農家建築で入母屋造二階建の鍵屋型。隈本家より譲り受け、郷土資料館を兼ねた学習の館として保存している。明治の文芸評論家・石橋忍月文学資料館も併設。

所 八女市黒木町今1053
問 学びの館 ☎0943-42-1982
期 通年(月曜日、年末年始休館)
時 9:00~17:00 料 無料

MAP 68





さかい や (きゅう きのした け)
八女市 堺屋(旧木下家)

江戸期から始まり、「堺屋」の屋号で代々酒造業を営みながら大きく栄えた旧家。明治41(1908)年完成の「離れ座敷」は、屋久杉の一枚板で造られた欄間や紫檀(したん)の床框(とこがまち)などが見られ、贅沢な造りとなっている。当時は主屋の離れ座敷として貴賓客のための応接や宿泊に使われていた。周辺一帯は八女市八女福島伝統的建造物群保存地区となっている。

所 八女市本町184 問 堺屋 ☎0943-23-7611
期 通年(12月28日～1月4日休館) 時 10:00～17:00 料 無料 MAP(69)



きゅう い どう でん え もん てい
飯塚市 旧伊藤伝右衛門邸

筑豊の炭鉱王と呼ばれた伊藤伝右衛門の本邸として明治30年代後半に建造され、歌人・柳原白蓮が過ごした邸宅。敷地面積2300坪、建物延床面積300坪で25部屋を有す。邸宅には様々な芸術的技法が用いられ、伝右衛門が妻・白蓮のために増改築を続けた歴史的建造物。庭は回遊式庭園で国名勝に指定されている。

所 飯塚市幸袋300 問 旧伊藤伝右衛門邸 ☎0948-22-9900
期 通年(水曜日、12月29日～1月2日休館) 時 9:30～17:00(入場は16:30まで)
料 大人300円、小中学生100円 MAP(73)

うち だ さん れん きょうりょう
赤村 内田三連橋梁

橋長13m、スパン長3.35mで「みつあんきょ」とも呼ばれている。明治28(1895)年に竣工。河の上流側(県道側)は切石造り、下流側は煉瓦造りとなっており、将来の複線化を考慮し、煉瓦を交互に突きだした「ゲタ歯」と呼ばれる造りで、縞模様や市松模様に見える。

所 田川郡赤村大字内田1804-1(平成筑豊鉄道 赤駅～内田駅間)
問 赤村政策推進室 ☎0947-62-3000
期 通年 時 なし 料 無料 MAP(70)



きゅう まつ き しょう ゆ や
飯塚市 旧松喜醬油屋

旧松喜醬油屋は幕末から明治時代初期に建築されたといわれる商家。醬油醸造は明治13年から昭和40年代まで行われていた。現在残る家屋は母屋と離れで、母屋には明治6(1873)年に筑前竹槍一揆の際に付けられたとされる大黒柱の傷と、筆筒と豪華な箱階段、船底天井が、離れには個人の家には珍しい月見台がある。

所 飯塚市勢田730 問 飯塚市歴史資料館 ☎0948-25-2930
期 土日曜日のみ開館(12月29日～1月3日休館)
時 9:00～16:00 料 無料 MAP(74)



いっさか とん ね る
赤村 石坂トンネル

明治28(1895)年にドイツの技術協力により建設された赤煉瓦造りの九州で最も古い鉄道トンネル。筑豊の石炭を若松まで運ぶため複線化を念頭に建設されたが、単線のみ使用され現在に至る。

所 田川郡赤村大字赤6938-2
問 赤村政策推進室 ☎0947-62-3000
期 通年 時 なし 料 無料 MAP(71)



かん ぼく と しゅ ぞう てん ぼ けん しゅ おく
嘉麻市 寒北斗酒造店舗兼主屋

江戸期に創業し「松尾屋」と号して酒造業を営んできた町屋。現在の店舗兼主屋は幕末頃の建築と考えられ、店舗のある土間は屋根裏の木太い梁組みをそのまま見せる吹き抜け構造の見応えのある空間である。店舗兼主屋のほかに、安政4(1857)年の棟札が残る蔵(現倉庫)、棟木に「昭和九年」の墨書が残る仕込蔵が合わせて国登録有形文化財となっている。

所 嘉麻市大隈町1036-1 料 無料
問 寒北斗酒造株式会社 ☎0948-57-0009
期 店舗営業日(1月1日～3日は休み) 時 9:00～17:00 MAP(75)

か ぼ げき じょう
飯塚市 嘉穂劇場

昭和6(1931)年落成、木造2階建て入母屋造り。間口10間(約18m)の大きな梁を構成することで柱を使わずに建てられた1,200人を収容する客席は、この地がかつて炭鉱で栄えてきたことを伝える贅沢な空間だ。

所 飯塚市飯塚5-23
問 嘉穂劇場 ☎0948-22-0266
期 通年(公演及びリハーサル日、12月31日～1月4日休館)
時 9:00～17:00 料 大人300円、小学生100円 MAP(72)



か ま し りつ お だ ひろ き び じゅつかん
嘉麻市 嘉麻市立織田廣喜美術館

1996年に複合文化施設「碓井琴平文化館」の一施設として建てられた美術館。かつての炭鉱跡地の傾斜を活かした設計で、炭鉱住宅を思わせる大きな切妻屋根はどこか懐かしく安心感のある佇まいだ。

所 嘉麻市上臼井767 問 織田廣喜美術館 ☎0948-62-5173
期 通年(月曜日、館内整理特別休館日、12月28日～1月4日休館)
時 9:30～17:30(入場は17:00まで)
料 大人310円、高大学生210円、小中学生100円 MAP(76)



第9回福岡県建築住宅文化賞大賞(1997)
第8回公共建築賞地域特別賞(2002)
第8回ブルガリア世界建築トリエンナーレ ウィーン市長賞(1997)



ふじ え し ぎょ らく えん
川崎町 藤江氏魚樂園

雪舟が築庭した庭の中でも特に傑出した文化遺産として、昭和53年に国指定名勝庭園に指定され、「雪舟さんの魚樂園」と多くの人に親しまれている。庭園にはお殿様専用にと造られた「御成門(おなりもん)」と医者のための門「薬医門(やくいもん)」の2つの門があり、雪舟を迎えた豪氏・藤江氏の屋敷も現存している。特に秋の紅葉が有名だが、春の桜、夏の新緑、そしてライトアップされる冬の「わび」「さび」の世界も格別だ。

所 田川郡川崎町大字安真木6388 問 藤江氏魚樂園 ☎0947-72-7777
期 通年(月曜日、第3火曜日休館)
時 9:00~16:00 料 大人300円、高校生以下100円

MAP 77



なか しま け じゅう たく
添田町 中島家住宅

江戸末期の建築と推測され、醤油蔵・酒蔵・中門・堀と共に国指定重要文化財に指定されている。江戸時代に榎嶺(はぜろう)の製造で財をなし明治の初年から酒造業、その後醤油醸造業を営んでいたため、現在も蔵などの商家の面影を遺している。

所 田川郡添田町大字添田1860
問 添田町まちづくり課 ☎0947-82-5965
期 平成32年度まで整備中のため非公開 料 無料

MAP 81

ひ た ひこ さん せん さい どう しょ えき しゃ
香春町 日田彦山線採銅所駅舎

大正4(1915)年、小倉鉄道の駅として開業。平成27(2015)年に100年を迎えた。開業時の姿で現在に至り、当時の技法や装飾が今に伝わる貴重な建物。小倉鉄道は複線化を念頭に置いて路線計画がなされたが、諸般の事情で単線化のまま現在に至る。南隣のトンネルは複線用で、歴史的にも貴重である。

所 田川郡香春町大字採銅所
問 香春町観光協会 ☎0947-85-8035
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 78



ひ こ さん じん じゃ ほう へい でん
添田町 英彦山神社 奉幣殿・
さい ぞう ぼう
財蔵坊

英彦山神宮へと続く参道沿いに福岡県指定文化財「財蔵坊」等のかつての山伏坊舎が残されている。参道を登ると国指定重要文化財「英彦山神社 奉幣殿」が姿を現す。山伏の住んでいた往時の雰囲気を感じることができる。財蔵坊は、現在は添田町歴史民俗資料館として活用されている。

所 田川郡添田町大字英彦山 料 無料
問 添田町まちづくり課 ☎0947-82-5965
期 通年(財蔵坊のみ、入館は土日祝日のみ・要事前連絡)

MAP 82



い どう つね たり きゅう たく
鞍手町 伊藤常足旧宅

江戸時代の国学者・伊藤常足の功績を偲ぶため、木造葺き平屋建ての旧宅を復元したもの。建築後200年以上が経過している家屋からは、江戸時代末期の建築術をうかがうことができる。

所 鞍手郡鞍手町大字古門1256
問 鞍手町歴史民俗博物館 ☎0949-42-3200
期 通年 時 10:00~16:00 料 無料

MAP 79



きゅう みつ い た がわ こう ぎょう しょ い た たて こう
田川市 旧三井田川鉱業所伊田堅坑
だい いち だいに えん とつ
第一・第二煙突

明治41(1908)年に蒸気機関の排煙用として2本の大煙突が築造された。煙突の高さは45.45m。使用されている耐火煉瓦は総計213,000枚でドイツ製(一部国産)のものを使用している。

所 田川市大字伊田2734-1
問 田川市石炭・歴史博物館 ☎0947-44-5745
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 83

きゅう す やま け じゅう たく
添田町 旧数山家住宅

旧数山家住宅は天保13(1842)年の建築で、寄棟造り茅葺で床上部と広い土間、厩、倉庫を取り入れた直屋の好例。この地方の特色をよく表した建造物として、昭和53年に重要文化財に指定された。

所 田川郡添田町大字津野1788
問 添田町まちづくり課 ☎0947-82-5965
期 通年(天候等により閉館の場合あり)
時 9:00~17:00 料 無料

MAP 80



きゅう みつ い た がわ こう ぎょう しょ
田川市 旧三井田川鉱業所
い た たて こうやぐら
伊田堅坑櫓

人や石炭等を運ぶためのケージ(カゴ)を昇降させるために築造された。堅坑櫓は2基あったが、明治42(1909)年完成の第一堅坑櫓のみ現存している。高さは約24mあり、地下坑道まで約300mある。

所 田川市大字伊田2734-1 問 田川市石炭・歴史博物館 ☎0947-44-5745
期 通年 時 なし 料 無料

MAP 84





りょうてい あ を ざ り

料亭あをざり

国登録

田川市新町の高台に位置する初代田川市長の旧邸。大正3(1914)年に建設の庄屋造りの本館と、本館とつながった別館で構成されており、別館は昭和9(1934)年に建築された。釘を1本も使っていない格(ごう)天井や銅瓦を見ることが出来る。現在は子孫が料亭を営んでいる。

所 田川市新町21-28 問 料亭あをざり ☎0947-42-1251
期 通年(月曜日、年末年始定休) 時 11:30～14:00、17:00～22:00
料 昼食・夜会席ともに完全予約制 MAP 85

直方市 アートスペース谷尾

国登録

木造一部煉瓦造二階建、鉄板葺。大正2(1913)年ごろ建築。南東隅が塔屋風に張り出し、外壁は煉瓦風タイル小口貼で基礎や窓台などに花崗岩(かこうがん)を用いており、コントラストが美しい。現在は直方谷尾美術館別館としてガラス工芸品を中心に展示され、レストランが入っている。直方に残る唯一の重厚な銀行建築。

所 直方市古町10-20 問 直方市教育総務課 ☎0949-25-2326
期 通年(月曜日休館) 時 9:30～17:30 料 無料 MAP 86



のう がた たに お び じゅつかん

直方谷尾美術館

国登録

大正2(1913)年に奥野医院として開院され、昭和16(1941)年ごろに建て直された、洋館(医院部分)・和館(住居部分)・茶室「鉄牛庵」の3棟から構成される歴史的価値の高い建造物。現在は市の美術館として活用されている。

所 直方市殿町10-35 料 一般100円、高大生50円(土曜日高校生無料)
問 直方市教育総務課 ☎0949-25-2326
期 通年(月曜日、12月29日～1月3日休館・臨時休館日あり)
時 9:30～17:30(入場は17:00まで) MAP 87

直方市 直方市石炭記念館本館

市

明治43(1910)年に筑豊石炭鉱業組合の会議所として建設された。その後、炭坑の救護訓練坑道が併設され、現在も残っている。木造2階建て。

所 直方市大字直方692-4 問 直方市教育総務課 ☎0949-25-2326
期 通年(月曜日、12月29日～1月3日休館)
時 9:00～17:00(入場は16:30まで)
料 一般100円、高大生50円(土曜日高校生無料)
※無料開放日もあり

MAP 88



観光ボランティア団体問合せ一覧

(市町村の50音順)

観光ボランティアガイドと一緒に福岡のまちを散策してみませんか?歴史ある建造物や名所などを巡りながら地域の魅力を再発見!
(時間や料金、コースなどの詳細は事前にお問い合わせください)

市町村	団体名	問合せ先	電話番号
福岡地方			
朝倉市	秋月学校ガイドボランティアの会	秋月学校ガイドボランティアの会(秋月公民館内)	0946-25-0458
朝倉市	朝倉地域観光案内ボランティアの会	あさくら観光協会	0946-24-6758
糸島市	糸島観光フレッシュガイド	一般社団法人 糸島市観光協会	092-322-2098
糸島市	糸島魅力みつ隊	糸島魅力みつ隊(代表 森勝義)	092-328-3070
糸島市	糸島ふるさとガイド	糸島ふるさとガイド(吉丸克彦 方)	092-321-0604
太宰府市	(公財)古都太宰府保存協会 大宰府史跡解説員	(公財)古都太宰府保存協会(大宰府展示館内)	092-922-7811
太宰府市	NPO法人 歩かんね太宰府	NPO法人 歩かんね太宰府(太宰府市NPO・ボランティア支援センター内)	080-6446-3905
太宰府市	太宰府天満宮ガイドサービスの会	太宰府天満宮	092-922-8225
那珂川町	歴史ガイドボランティアなかがわ	代表 山下昭二	090-7983-7366
福岡市	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会(西村誠 方)	092-882-5853
福岡市	福岡市観光案内ボランティア	(公財)福岡観光コンベンションビューロー	092-733-5050
福岡市	福岡歴史探訪ガイド	福岡歴史探訪ガイド(井上光枝 方)	092-771-6773
福岡市	NPO法人福岡城市民の会	NPO法人福岡城市民の会(読売福岡ビル内)	092-716-8238
福津市	福津市観光協会 観光ボランティア	福津市観光協会	0940-42-9988
宗像市	宗像歴史観光ボランティアの会	宗像観光情報コーナー	0940-62-3811

北九州地方			
苅田町	苅田ガイドの会	苅田町観光協会	093-434-1809
北九州市	北九州市観光案内ボランティア	北九州市観光情報コーナー	093-541-4189
上毛町	上毛町文化財ガイドクラブ	上毛町文化財ガイドクラブ(事務局／飯田哲雄)	0979-72-2480
中間市	なかまガイドの会	中間市世界遺産推進室	093-245-4665
豊前市	豊前市史跡ガイドボランティアの会	豊前市史跡ガイドボランティアの会(求菩提資料館内)	0979-88-3203
行橋市	ゆきはし屋根のない博物館「市民学芸員の会」	行橋市歴史資料館	0930-25-3133

筑後地方			
うきは市	筑後よい案内人	うきは市観光協会	0943-77-5611
大川市	大川市観光ボランティアの会	大川市観光情報センター	0944-87-0923
大牟田市	大牟田観光ボランティアガイド	大牟田観光協会(大牟田観光プラザ内)	0944-52-2212
小都市	松崎油屋の保存と活用を考える会	NPO法人小都市の歴史を守る会	0942-80-1920
久留米市	久留米市観光ボランティアガイドの会	(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会	0942-31-1717
筑後市	ちくご♡恋のくに案内人の会	筑後市商工観光課内	0942-65-7024
みやま市	みやま市観光ボランティアガイド	みやま市観光協会	0944-63-3955
柳川市	柳川観光ボランティアガイド	柳川市役所観光課	0944-73-8111
八女市	星野村観光ボランティアガイド	一般財団法人 星のふるさと	0943-31-5588
八女市	八女市観光ボランティア	八女市観光協会(八女伝統工芸館内)	0943-22-6644
八女市	八女福島町並ガイドの会	八女福島町並ガイドの会(八女市横町町家交流館内)	0943-23-4311

筑豊地方			
飯塚市	筑豊飯塚観光案内人	飯塚観光協会	0948-22-3511
添田町	添田町観光ガイドボランティア	添田町役場まちづくり課観光係	0947-82-1236
直方市	歴史ボランティア・直方を語る会「とおれんじ」	歴史ボランティア・直方を語る会「とおれんじ」(増井幸恵 方)	0949-26-0034
直方市	のおがた観光ガイド 泰山木の会	直方市観光物産振興協会	0949-28-8135
福智町	福智町観光ボランティアガイド	福智町役場まちづくり総合政策課	0947-22-7766
宮若市	宮若市観光がいの会	宮若市観光協会	0949-55-9090

三池炭鉱 世界遺産

日本の近代化の礎を築いた、国内一の炭鉱

「富国強兵」をスローガンに国家の近代化を目指した明治期。日本は繊維工業などの軽工業から炭業、製鉄、造船などの重工業への転換、後に言う「明治日本の産業革命」を推し進めた。この原動力となったのが「石炭」。なかでも、三井が政府からの払い上げで獲得した三池炭鉱は、国琢磨の指導のもと機械化を進め、また、三池港の築港を実現させて、出炭量、輸出量を飛躍的に増大させ日本一の炭鉱となった。

1 三池炭鉱宮原坑 MAP 89

(国指定重要文化財・史跡)

明治22(1889)年に明治政府から払い下げを受けた三井が明治31(1898)年に最初の開発を行った坑口。
第二竪坑櫓はバックステイ型総鋼鉄製。二基のケージが垂下され、主に人馬昇降に利用された。第二竪坑巻揚機室は煉瓦造一部二階建。屋根は改変され、小屋組みの勾配が下がりトタン葺となっているが、本来は瓦葺であった。内部には二基の巻揚機が現存する。当初の蒸気原動力から電気へと転換した際に内部設備等も併せて更新されており、西側のアーチ窓の一部は閉塞されている。

所 大牟田市宮原町1丁目86-3
問 大牟田市世界遺産登録・文化財室 ☎0944-41-2515
時 10:00~17:00 **料** 無料 **期** 通年 **方** ガイド常駐



竪坑櫓

2 三池炭鉱万田坑 MAP 90

(国指定重要文化財・史跡)

明治35(1902)年に開削された、宮原坑に続く主力坑。竪坑櫓をはじめ、煉瓦造平屋建瓦葺の旧扇風機室や旧扇風機械室などが良好な保存状態にあり、明治期の建築構造がよく理解できる。



竪坑櫓



巻揚機

所 熊本県荒尾市原万田200-2
問 万田坑ステーション ☎0968-57-9155
期 通年(月曜日、祝日の場合は翌日、12月29日~1月3日休館)
時 9:30~17:00(有料区域の入場は16:30まで)
料 万田坑跡:大人410円、高校生300円、小中学生200円
万田坑ステーション:無料
方 ガイド要問合せ

3 三池炭鉱専用鉄道敷跡 MAP 91

(国指定史跡・景観重要建造物)

三池炭鉱各坑口と積出港とを結ぶ専用鉄道跡。技術発展に伴い馬車鉄道から蒸気機関車、電気鉄道へと変遷した。積載量の多い石炭貨車を効率的に牽引する為に全線に亘り低勾配で設計され、切土や盛土で造成されている。随所に煉瓦造の橋台や橋梁、開渠(かいきょ)等の施設が現存する。



所 大牟田市、荒尾市 **期** 通年 **料** 無料
問 大牟田市世界遺産登録・文化財室 ☎0944-41-2515
荒尾市教育委員会 世界遺産推進室 ☎0968-63-1681

4 三池港 MAP 92

石炭を大型船で直接積載し搬出する為に築港された。干満差の激しい有明海からもたらされる砂泥の影響を克服するために設けられた長大な防砂堤、潮位差を解消するための潮待ちの内港、閘門(こうもん)を備えた船渠(せんきょ)が計画的に配置され、現在も重要港湾として機能している。

所 大牟田市新港町
問 大牟田市世界遺産登録・文化財室 ☎0944-41-2515
期 ふ頭閘門等稼働施設:非公開
三池港:島鉄高速船乗り場前広場から随時見学可能
旧長崎税関三池税関支署:日曜日10:00~17:00
料 無料 **方** ガイド常駐 ※展望台あり(10:00~17:00)



だん たく ま
團琢磨 1858~1932

福岡藩生まれ。1871年に13歳で岩倉使節団に同行して渡米、マサチューセッツ工科大学で鉱山学を学んだ後、1884年工部省に入省し三池炭鉱に勤務する。しかし、1888年に三井が三池炭鉱を落札することにより團は職場を失う。福岡県庁に入庁予定であったが、その才能を評価していた三井社長が「三池の落札価格には團の価値も入っている」と主張し、福岡県庁の2倍以上の給金で招聘された。その後、1889年に三井が組織した三池炭鉱社の最高責任者である初代事務長に就任し、宮原や万田など各坑の開削や三池港築港の指揮を執るなど、近代化の推進に大きく貢献した。

三池港築港に際しては、「石炭山の永久ということはない。築港をやればそこにまた産業を興すことができる。築港をしてあげば、いくらか百年の基礎になる」という言葉を残している。彼の言葉通り、三池港は築港より100年を経た現在も、国際物流の拠点として可動し続けている。



官営八幡製鐵所 世界遺産

「鉄は国家なり」——ものづくり国家・日本の始まりはここから

明治日本の産業革命を語るうえで欠かせないのは、製鉄業。明治維新後、政府により「殖産興業」の政策が進められ、それまで輸入に頼っていた鋼鉄の国内生産を目指し、日本一の石炭産出量を誇った筑豊炭田に隣接していた北九州・八幡に、明治政府の威信をかけた国家プロジェクト「官営八幡製鐵所」が建設される。相次ぐトラブルを克服した官営八幡製鐵所は国内鋼材生産量の大半を担うまでに成長を遂げていく。これを境に、日本の基幹産業は繊維工業などの軽工業から、鉱業・製鉄・造船といった重工業へと移っていった。



1 官営八幡製鐵所 旧本事務所 (景観重要建造物) MAP 93



八幡製鐵所創業2年前の1899年に竣工した初代本事務所。中央にドームを持つ左右対称形の煉瓦造二階建瓦葺建築で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれた。設計には山口半六が関係している。1922年、製鐵所の規模拡大に伴って管理機能が移転した後は、鉄鋼研究所や検査室などとして利用された。※非公開施設ですが、眺望スペースから外観を見学できます。(現地ボランティアガイド常駐 10:00～14:00)

2 官営八幡製鐵所修繕工場 (景観重要建造物) MAP 94

1900年、製鐵所で使用する機械の修繕、部材の製作加工等を行う目的で、ドイツのグーテホフマンクスヒュッテ(GHH.)社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。その後、鋼材生産量の増大に伴って3回増築された。3回目増築時の鋼材は八幡製で、輸入材から国産へとの変遷を伺うことができる。創業から現在まで110年以上の間、修繕工場として稼働し続けている。国内最古級の鉄骨造建造物。(非公開施設)



3 官営八幡製鐵所 旧鍛冶工場 (景観重要建造物) MAP 95

1900年に、製鐵所建設に必要な鍛造品の製造を行う目的で、修繕工場と同様、ドイツのGHH.社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。製鐵所の拡張工事により増築されたが、その後、1917年に現在地へ移築されるとともに製品試験所になった。現在は史料室として利用されている。(非公開施設)



4 官営八幡製鐵所 遠賀川水源地ポンプ室 MAP 96

(景観重要建造物)
遠賀川の河口から約10kmにある八幡製鐵所の取水施設。煉瓦造平屋でポンプ室建屋内部は唧筒室(ぼんぷしつ)と汽罐室(きかんしつ)に分かれる。八幡製鐵所第一期拡張工事に伴う工場用水不足を補うため、1910年に建設された。赤煉瓦を基調としつつ随所に鉦澤煉瓦を使用して外観の意匠を飾るとともに、建物内部もデザイン性に富んだ建築となっている。動力は蒸気から電気へ変わったが、現在も稼働中。
※非公開施設ですが、敷地外の眺望スペースから外観を見学できます。(現地ボランティアガイド土日のみ対応 10:00～16:00)

問 北九州市総務企画局政策部世界遺産登録推進室 ☎093-582-2922 中間市総合政策部世界遺産推進室 ☎093-246-6273



※写真提供：新日鐵住金(株)八幡製鐵所

- 1p… はじめに・本書の読み方
 2p… ① 普門院本堂 ② 秋月城本門(黒門)・長屋門
 ③ 須賀神社本殿 ④ 旧田代家住宅
 3p… ⑤ 高祖神社本殿・拝殿 ⑥ 櫻井神社・櫻井大神宮
 ⑦ 旧藤瀬家住宅 ⑧ 粕屋町総合体育館(かすやドーム)
 4p… ⑨ 旧志免鉱業所竪坑櫓 ⑩ 横大路家住宅
 ⑪ 太宰府天満宮本殿 ⑫ 戒壇院本堂
 5p… ⑬ 観世音寺金堂・講堂 ⑭ 旧九州鉄道城山三連橋梁
 ⑮ 武蔵寺(椿花山成就院武蔵寺) ⑯ 岩屋神社
 6p… ⑰ 行者堂 ⑱ いぶき館
 ⑲ めがね橋 ⑳ 伊野天照皇大神宮
 7p… ㉑ 旧日本生命保険株式会社九州支店 ㉒ 旧福岡県公会堂貴賓館
 ㉓ 福岡城跡 ㉔ 「博多町家」ふるさと館
 8p… ㉕ アクロス福岡 ㉖ 福岡タワー
 ㉗ 津屋崎千軒民俗館 藍の家 ㉘ 宗像大社辺津宮本殿・拝殿
 9p… ㉙ 宗像大社沖津宮遥拝所 ㉚ 北九州市旧古河鉱業若松ビル
 ㉛ 旧大阪商船 ㉜ 九州鉄道記念館
 10p… ㉝ 旧門司三井倶楽部 ㉞ 東田第一高炉跡
 ㉟ 若戸大橋 ㊱ 旧藏内邸
 11p… ㊲ 蔵春園 ㊳ 永沼家住宅 ㊴ 三重塔
 ㊵ 旧百三十銀行行橋支店(行橋赤レンガ館)
 12p… ㊶ 稲童1号掩体壕 ㊷ 守田養洲旧居
 ㊸ 平川家住宅 ㊹ 鏡田屋敷
 13p… ㊺ 居蔵の館 ㊻ 大川市旧吉原家住宅
 ㊼ 筑後川昇開橋 ㊽ 風浪宮
 14p… ㊾ 大牟田市庁舎 ㊿ 旧三井港倶楽部
 ㊽ 松岡家住宅 ㊾ 旧松崎旅館油屋
 15p… ㊿ 久留米市立草野歴史資料館 ㊽ 高良大社本殿・幣殿・拝殿・大鳥居
 ㊾ 善導寺本堂ほか7棟 ㊿ 山辺道文化館
 16p… ㊽ 坂本繁二郎生家 ㊾ 今村天主堂
 ㊿ 山梶窩 ㊽ 九州芸文館
 17p… ㊽ 長田鉱泉場 ㊾ 清水寺三重塔
 ㊿ 内野樟脳工場 ㊽ 北原白秋生家
 18p… ㊽ 立花氏庭園西洋館 大廣間・御居間・家政局 ㊿ 旧戸島家住宅
 ㊾ 旧松木家 ㊿ 旧隈本家
 19p… ㊽ 堺屋(旧木下家) ㊾ 内田三連橋梁
 ㊿ 石坂トンネル ㊽ 嘉穂劇場
 20p… ㊽ 旧伊藤伝右衛門邸 ㊾ 旧松喜醤油屋
 ㊿ 寒北斗酒造店舗兼主屋 ㊽ 嘉麻市立織田廣喜美術館
 21p… ㊽ 藤江氏魚楽園 ㊾ 日田彦山線採銅所駅舎
 ㊿ 伊藤常足旧宅 ㊽ 旧数山家住宅
 22p… ㊽ 中島家住宅 ㊾ 英彦山神社 奉幣殿・財藏坊
 ㊿ 旧三井田川鉱業所伊田竪坑 第一・第二煙突 ㊽ 旧三井田川鉱業所伊田竪坑櫓
 23p… ㊽ 料亭あをぎり ㊾ アートスペース谷尾
 ㊿ 直方谷尾美術館 ㊽ 直方市石炭記念館本館
 24p… 観光ボランティア団体問合せ一覧
 25p… ㊽ 三池炭鉱宮原坑 ㊾ 三池炭鉱万田坑
 26p… ㊽ 三池炭鉱専用鉄道敷跡 ㊾ 三池港
 27p… ㊽ 官営八幡製鐵所旧本事務所 ㊾ 官営八幡製鐵所修繕工場
 28p… ㊽ 官営八幡製鐵所旧鍛冶工場 ㊾ 官営八幡製鐵所遠賀川水源ポンプ室

福岡県マップ



目次にある①～⑯は、本文の番号に対応しています。
 大まかな場所はマップでご確認ください。